

# 第3回盛岡都市圏地域公共交通会議

## 説明資料

### 目次

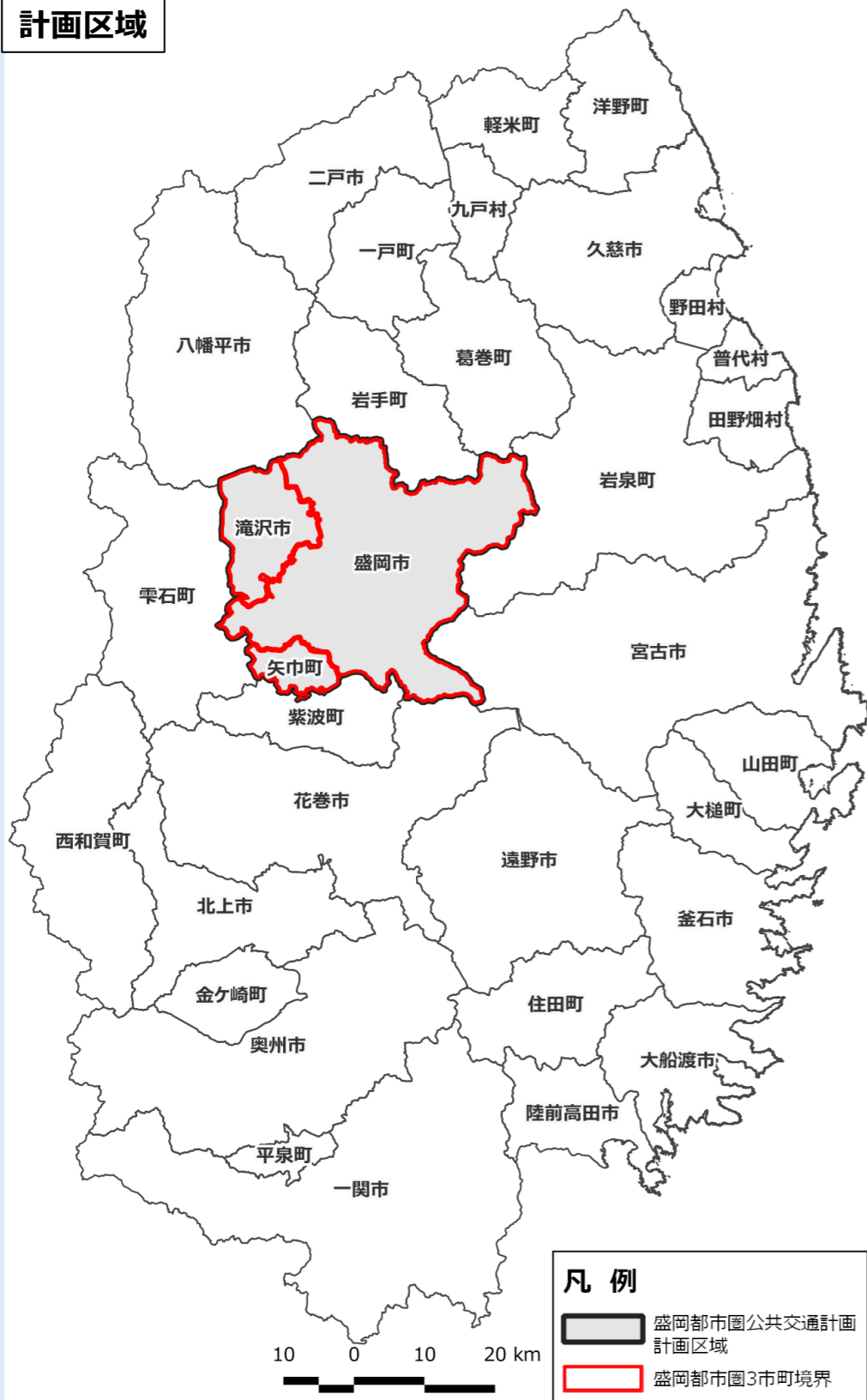
盛岡都市圏地域公共交通計画における基本事項	1
盛岡都市圏の現状	2
盛岡都市圏の移動実態	4
盛岡都市圏の公共交通の現状	9
盛岡都市圏の公共交通の課題	20
盛岡都市圏における公共交通ネットワーク再編のイメージ（案）	22

# 盛岡都市圏地域公共交通計画における基本事項

## 計画区域

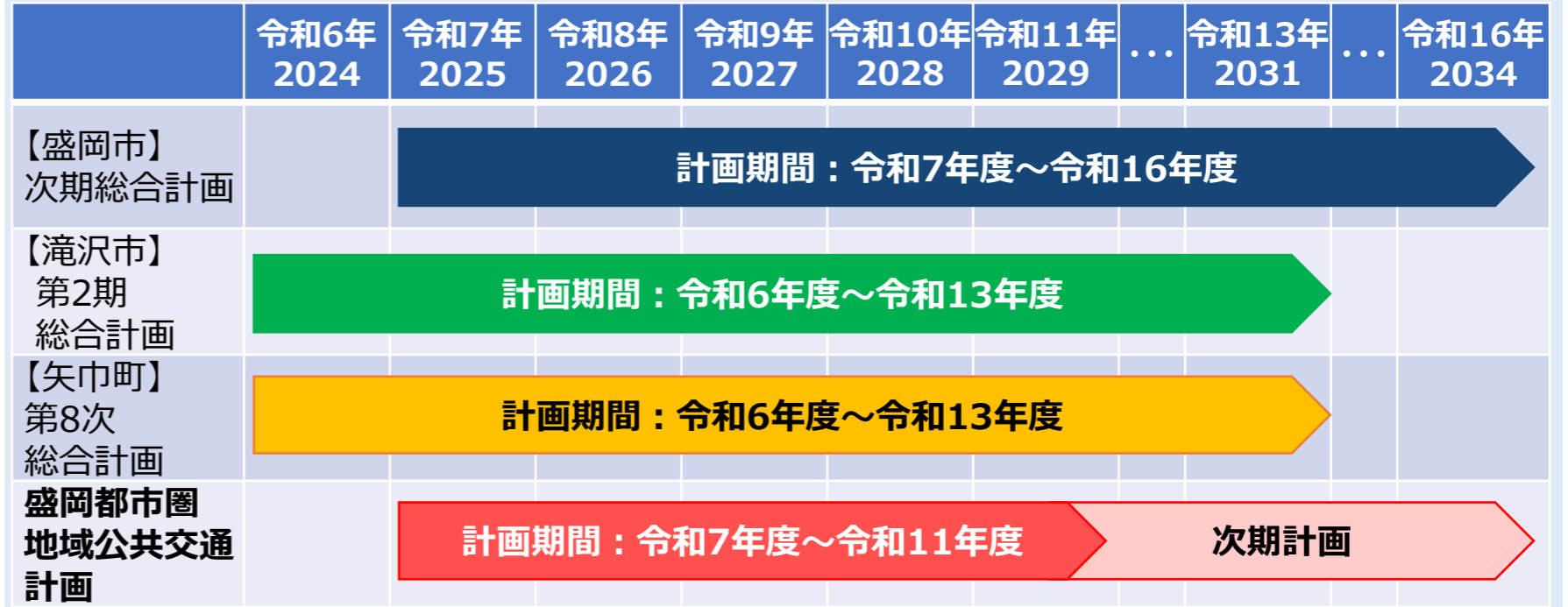
- 盛岡都市圏地域公共交通計画の区域は、**盛岡市、滝沢市、矢巾町**の3市町で構成される**盛岡都市圏**とする。

### 計画区域



## 計画期間

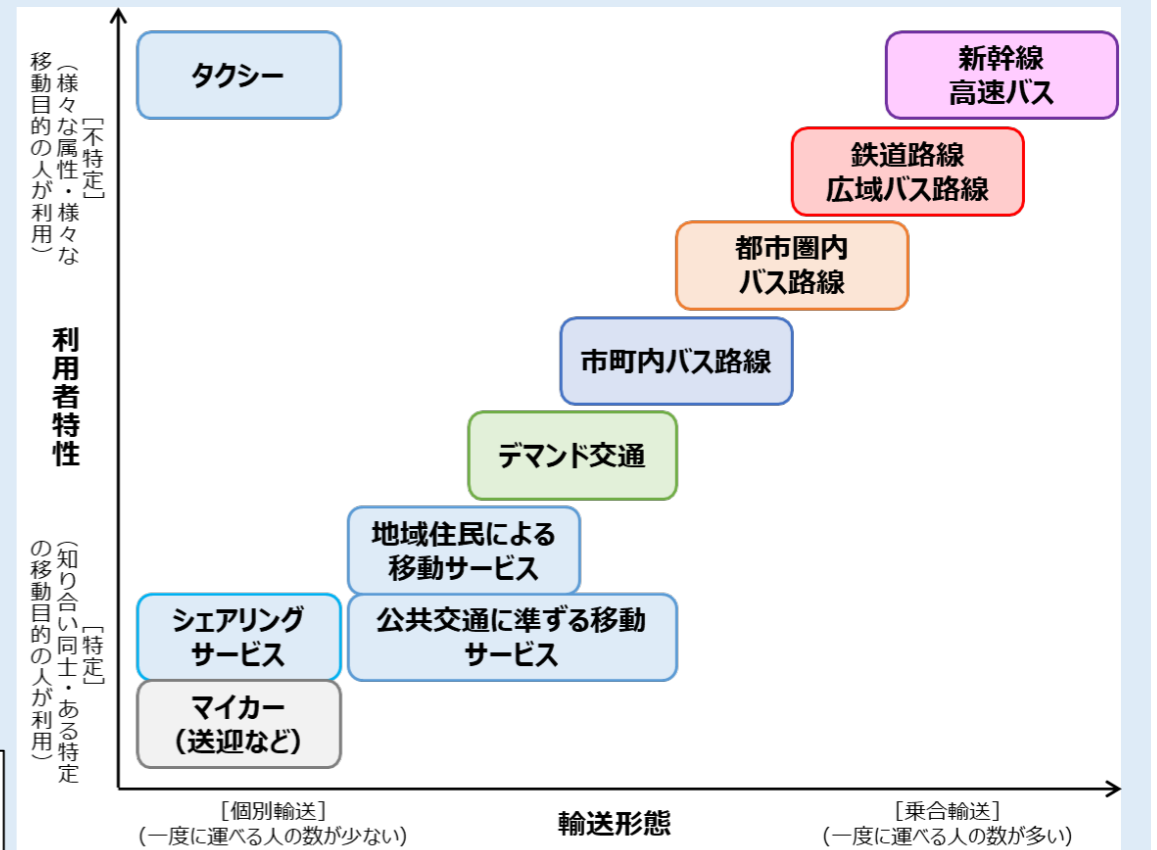
- 本計画の計画期間は、盛岡都市圏3市町の上位・関連計画と整合することとし、**令和7年度～令和11年度の5年間**とする。



## 対象とする交通モード

- 本計画の対象とする交通モードは、鉄道・バス・タクシー等の公共交通に加えて、地域住民による移動サービスや施設送迎等の公共交通に準ずる移動サービスやシェアリングサービス等も対象とする。
- まちづくりとの整合や移動需要等を踏まえ、適切に公共交通ネットワークへの位置付けや施策に組み込むことを検討する。

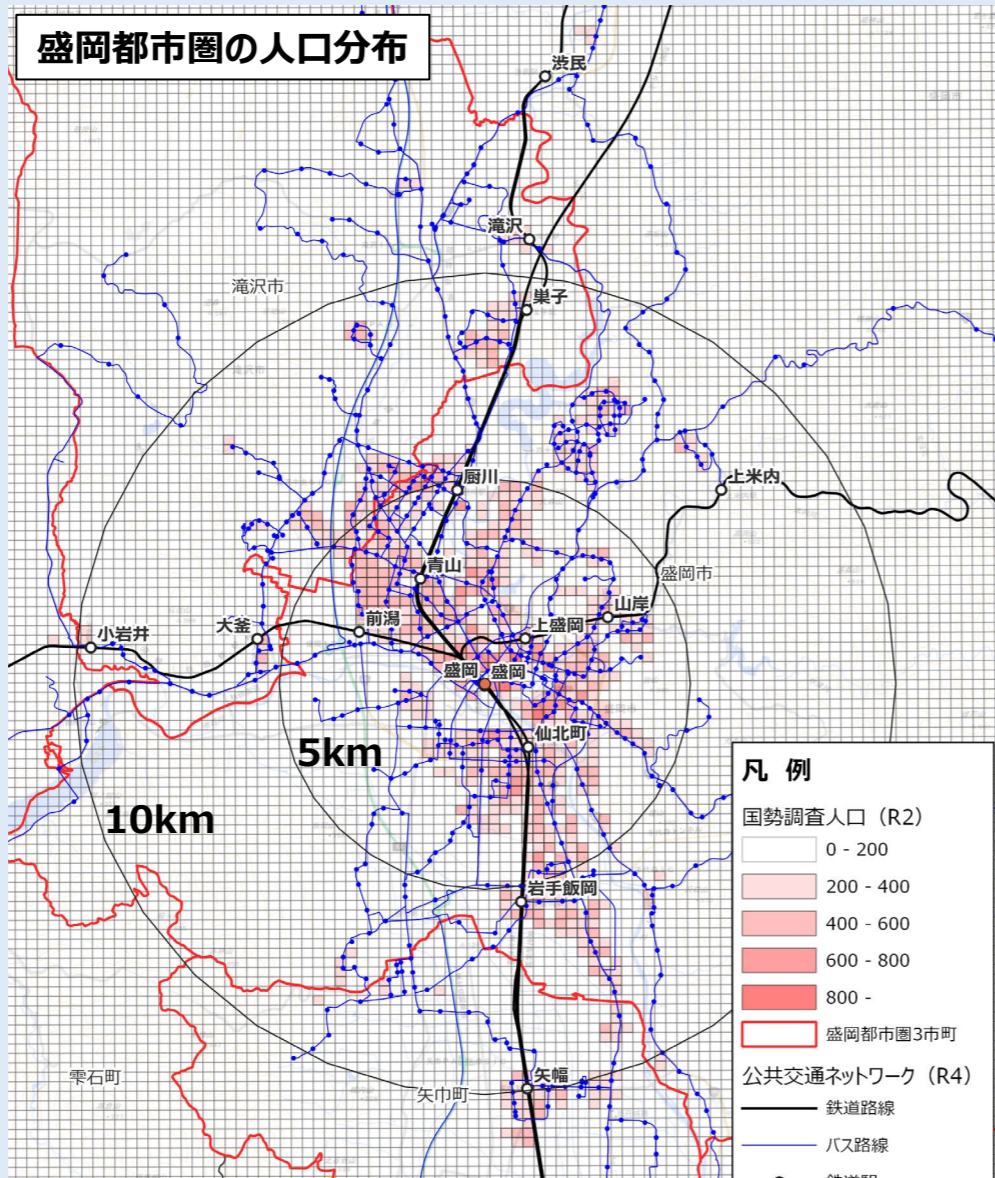
### 地域公共交通計画で対象とする交通モードの特性



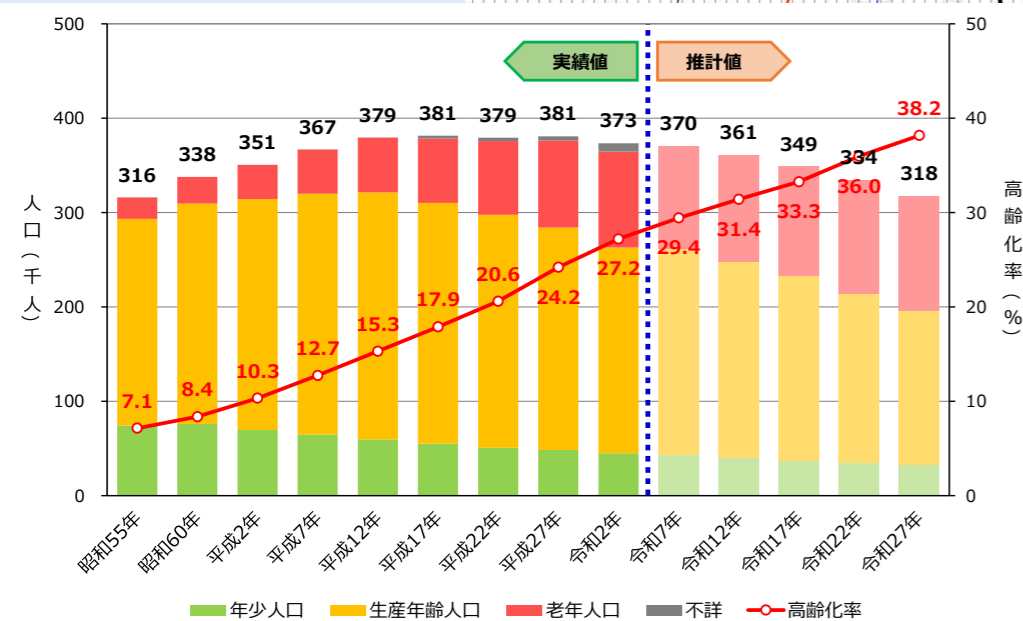
# 盛岡都市圏の現状

## 人口

- 盛岡都市圏では、盛岡駅を中心に概ね5kmの比較的狭い範囲に人口が集中している。
- 盛岡駅から距離がある地区でも、鉄道沿線や路線バスが密に運行される地区に市街地がまとまっている。
- 盛岡都市圏の人口は平成27年をピークに減少に転じており、令和2年には37万3000人となっている。
- 令和27年には人口が31万8000人程度まで減少し、高齢化率は38.2%となることが予想されている。



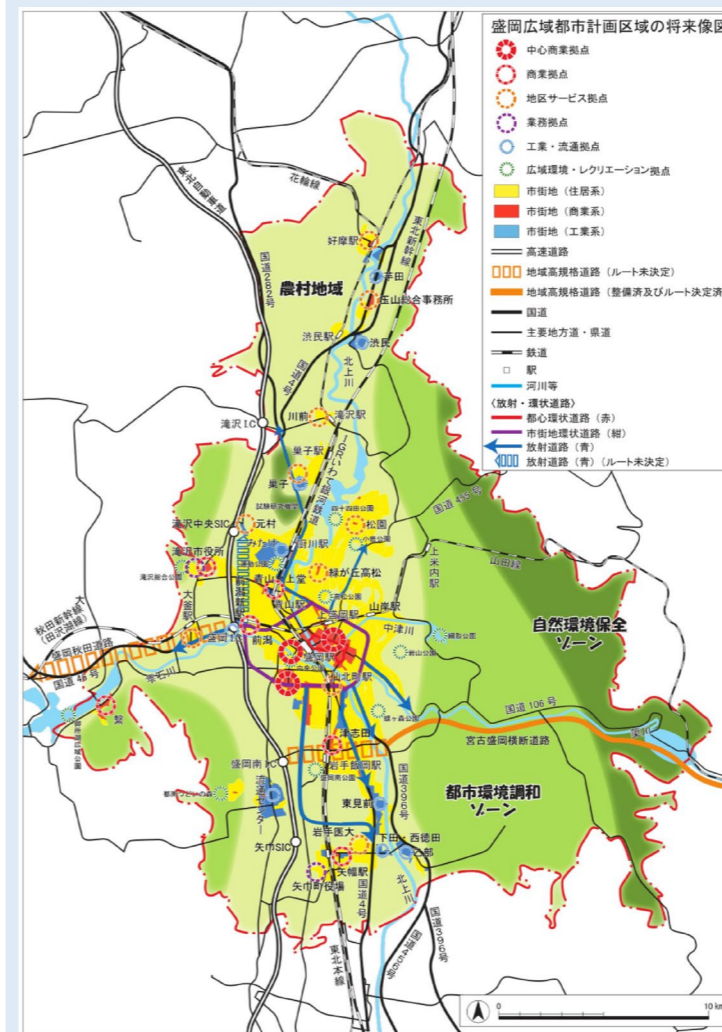
## 盛岡都市圏の人口推移



## まちづくり

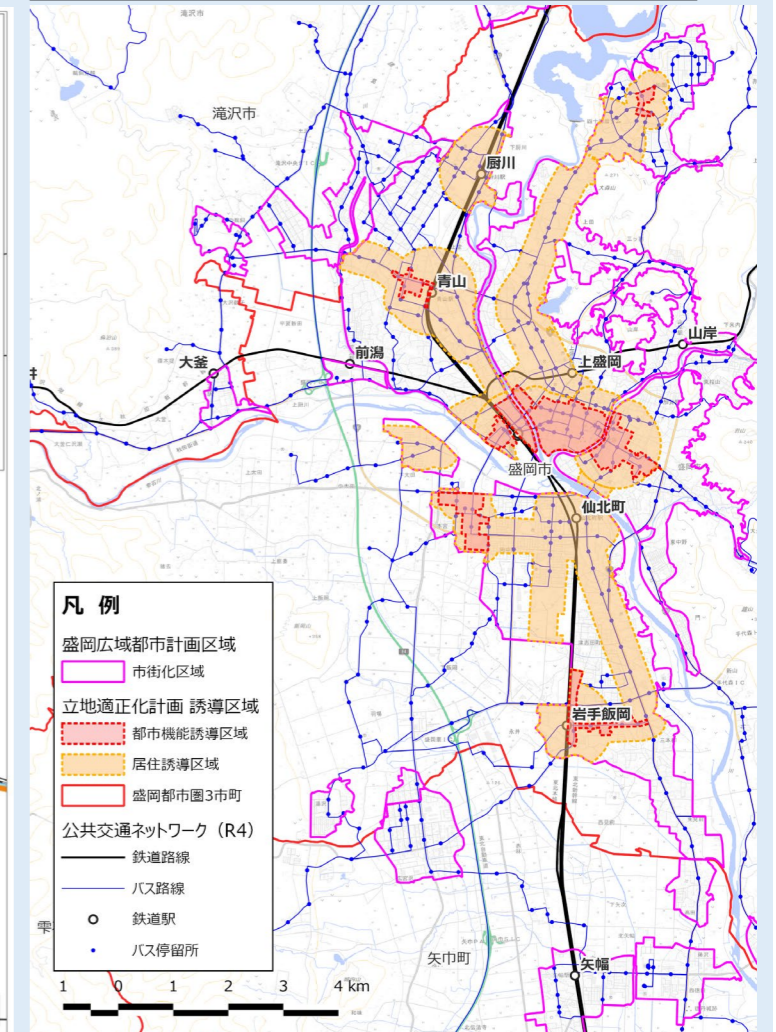
- 都市計画においては、盛岡都市圏を構成する盛岡市、滝沢市、矢巾町の3市町で盛岡広域都市計画区域に指定されており、『豊富な自然環境に恵まれ、歴史と文化の香りに満ちた、東北の拠点都市』を基本理念に掲げ、「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりが進められている。
- 無秩序な市街化を抑制するために、計画的に市街化を図る市街化区域が県内で唯一指定されている。
- 盛岡市においては、さらなるコンパクトで効率的な都市構造を目指すべく、立地適正化計画を策定しており、全国でもトップレベルに厳しく誘導区域を設定している。

## 盛岡広域都市計画区域の将来像



出典：盛岡広域都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（岩手県）

## 市街化区域・立地適正化計画 誘導区域の指定状況

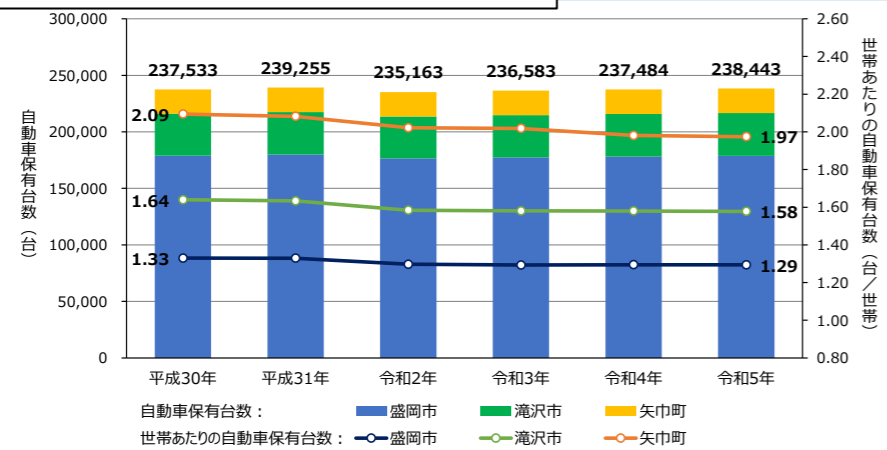


# 盛岡都市圏の現状

## 自家用車保有状況

- 盛岡都市圏の自家用車保有台数は、令和2年まで減少傾向であったが、近年は再び増加している。
- 世帯あたりの自動車保有台数は、盛岡市以外は県平均の1.4台/世帯を上回っている。

盛岡都市圏の自家用車保有状況

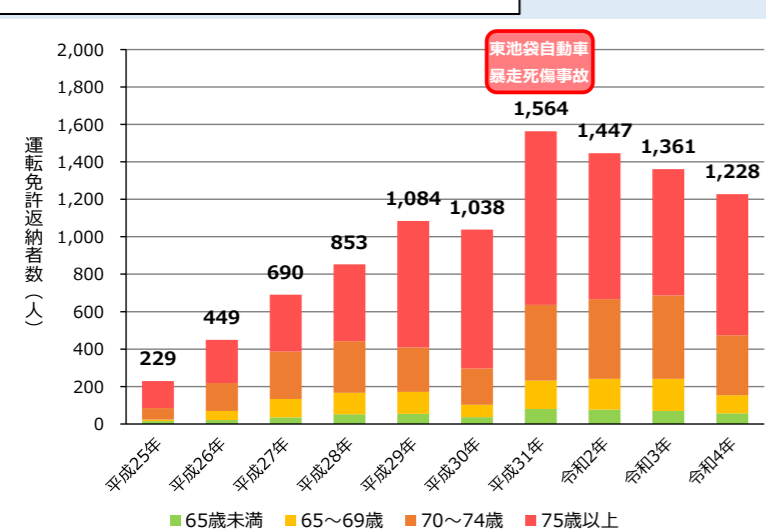


出典：岩手県市町村別保有車両数 (東北運輸局)

## 運転免許保有状況

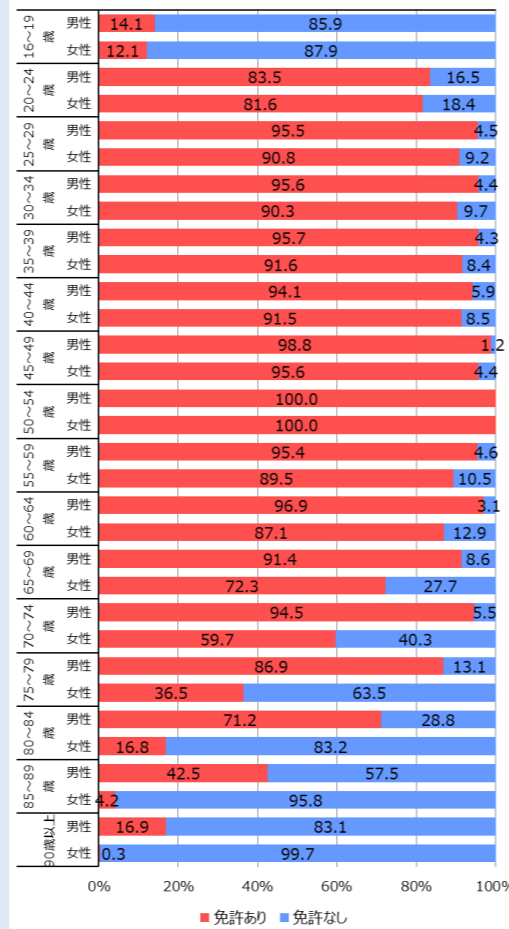
- 20～64歳の運転免許保有数が8割を超えている。
- 65歳以上では男女で保有状況に差があり、高齢になるほど運転免許を取得する女性が減少するため、女性の保有率は低下する。
- 免許返納者は平成31年の自動車暴走事故等を受け増加したものの、近年は減少している。

盛岡都市圏の運転免許返納数



出典：運転免許自主返納数 (岩手県警察)

盛岡都市圏の運転免許保有率

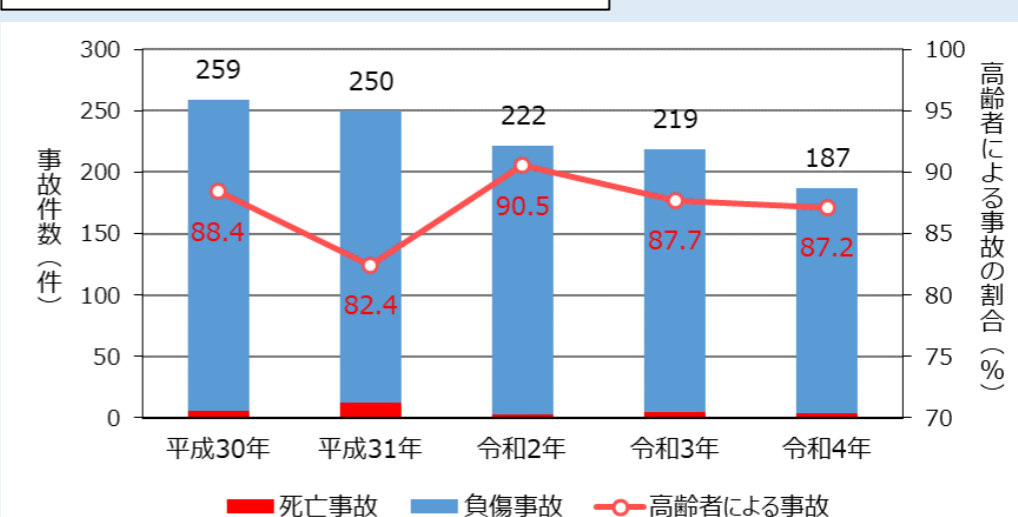


出典：岩手の免許人口 (岩手県警察)

## 交通事故

- 盛岡都市圏で発生している交通事故は、近年減少傾向にあるものの、8割以上が高齢者が関係する事故である。
- 平成31年以降に発生した死亡事故は、全て高齢者が関係している。
- 交通安全の観点からも、運転免許証を返納できる環境の構築が求められる。

盛岡都市圏の交通事故件数の推移



出典：交通事故発生マップ (岩手県警察)

高齢者の死亡事故発生場所 (平成30年～令和4年)



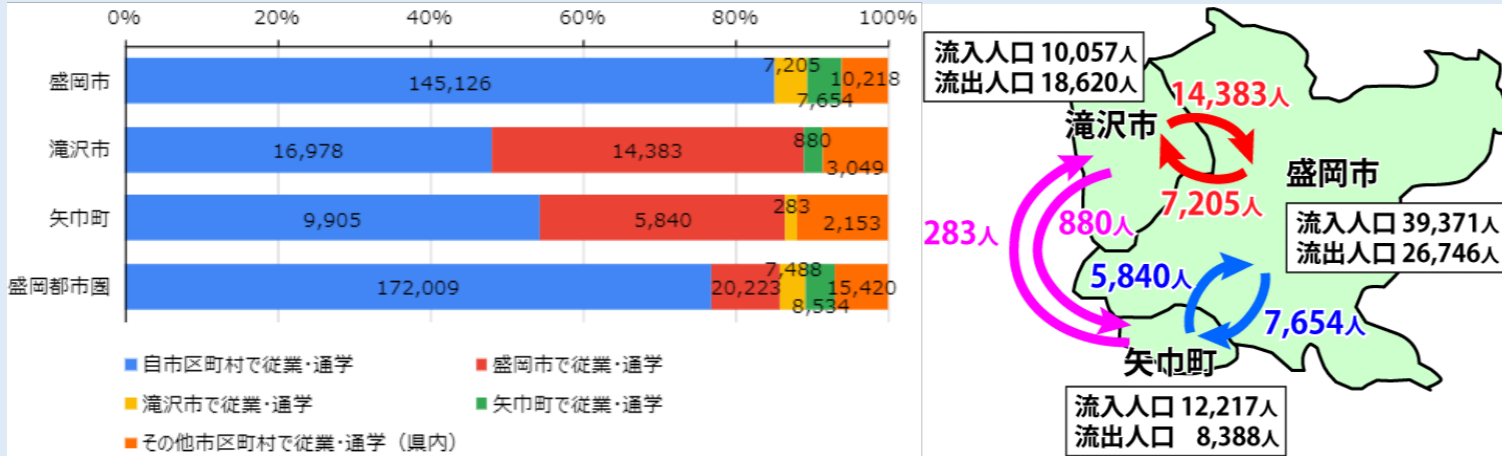
出典：交通事故発生マップ (岩手県警察)

# 盛岡都市圏の移動実態

## 通勤・通学流動

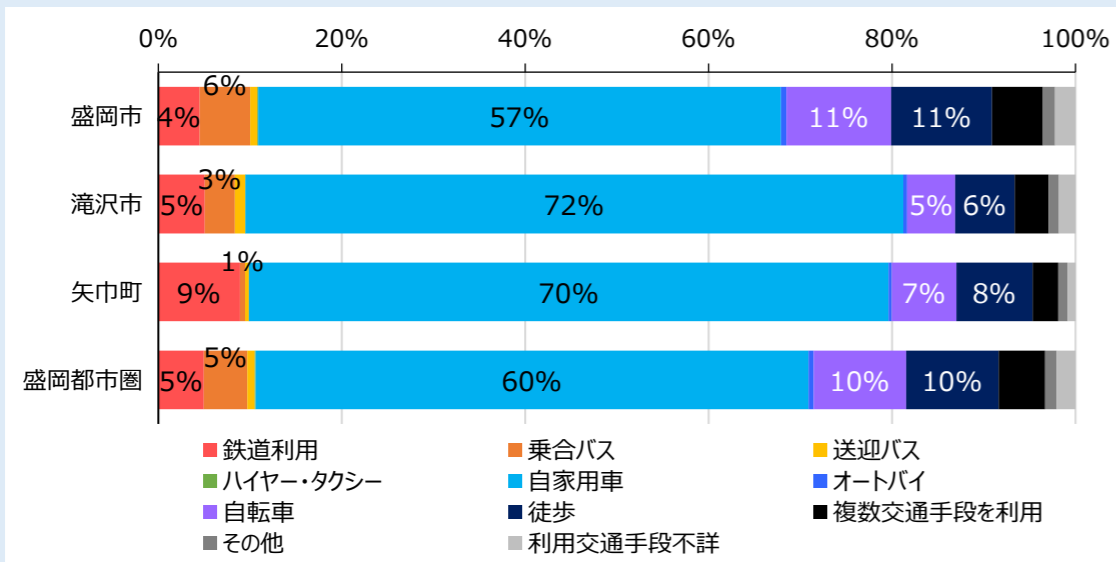
- 盛岡都市圏の通勤・通学流動は、都市圏内の市町を跨ぐ移動が多くなっており、滝沢市では自市と同程度、盛岡市にも通勤・通学で移動している。
- 盛岡都市圏での通勤・通学手段は、公共交通利用は1割程度で、自家用車利用が最も多く、滝沢市、矢巾町では約7割となっている。
- 盛岡市では自家用車利用が若干少ないものの、公共交通利用が多いのではなく、自転車や徒歩のみが2市町よりは多い傾向にある。
- より詳細な通勤・通学流動を分析すると、隣接する地区に加えて、公共交通や道路ネットワークが整っている地区間での移動が多い傾向にある。

### 盛岡都市圏における通勤・通学流動



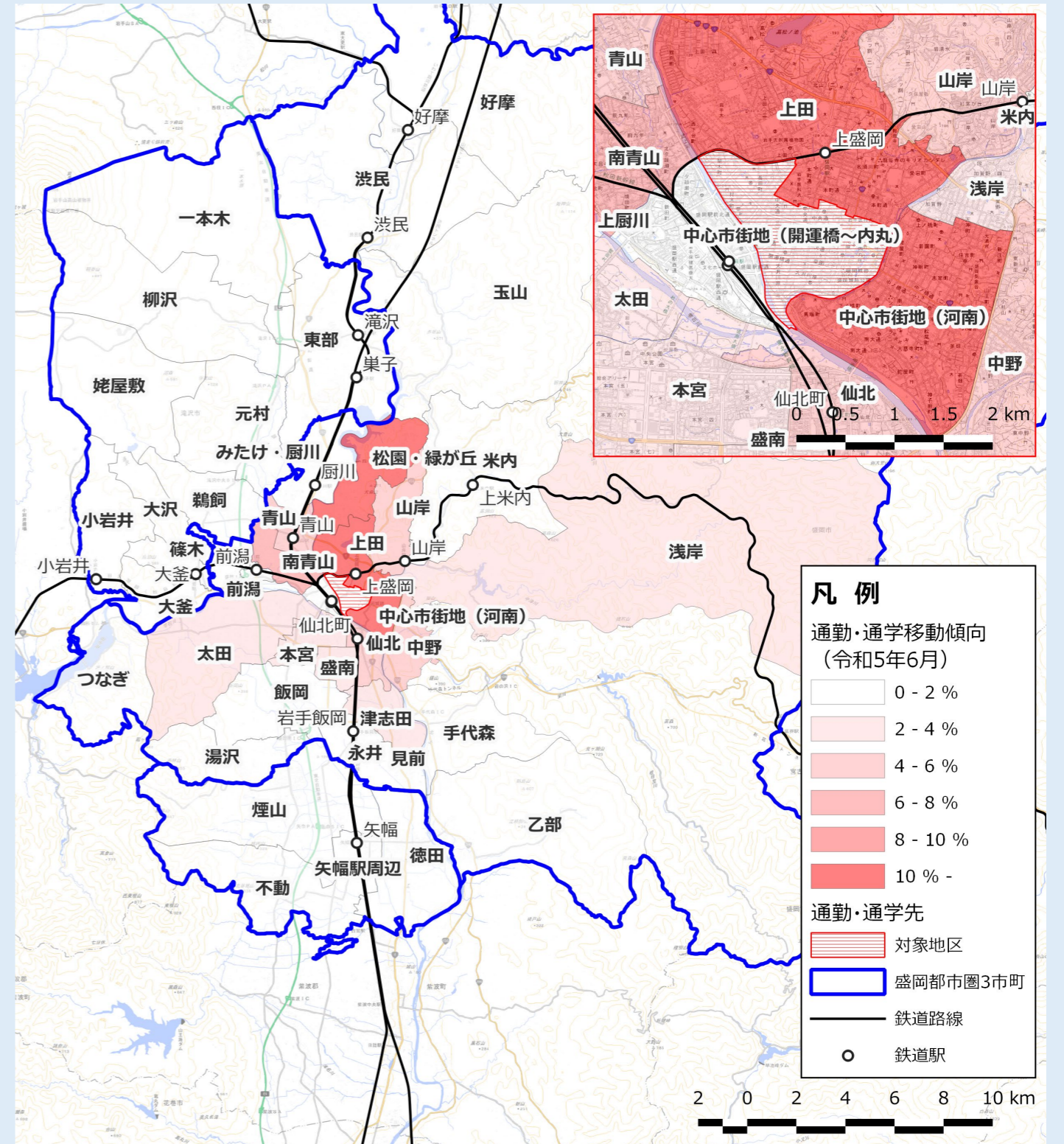
出典：国勢調査（総務省）

### 盛岡都市圏における通勤・通学時の交通手段



出典：国勢調査（総務省）

### 盛岡市中心市街地（開運橋～内丸）を勤務・通学地とする居住者の移動傾向



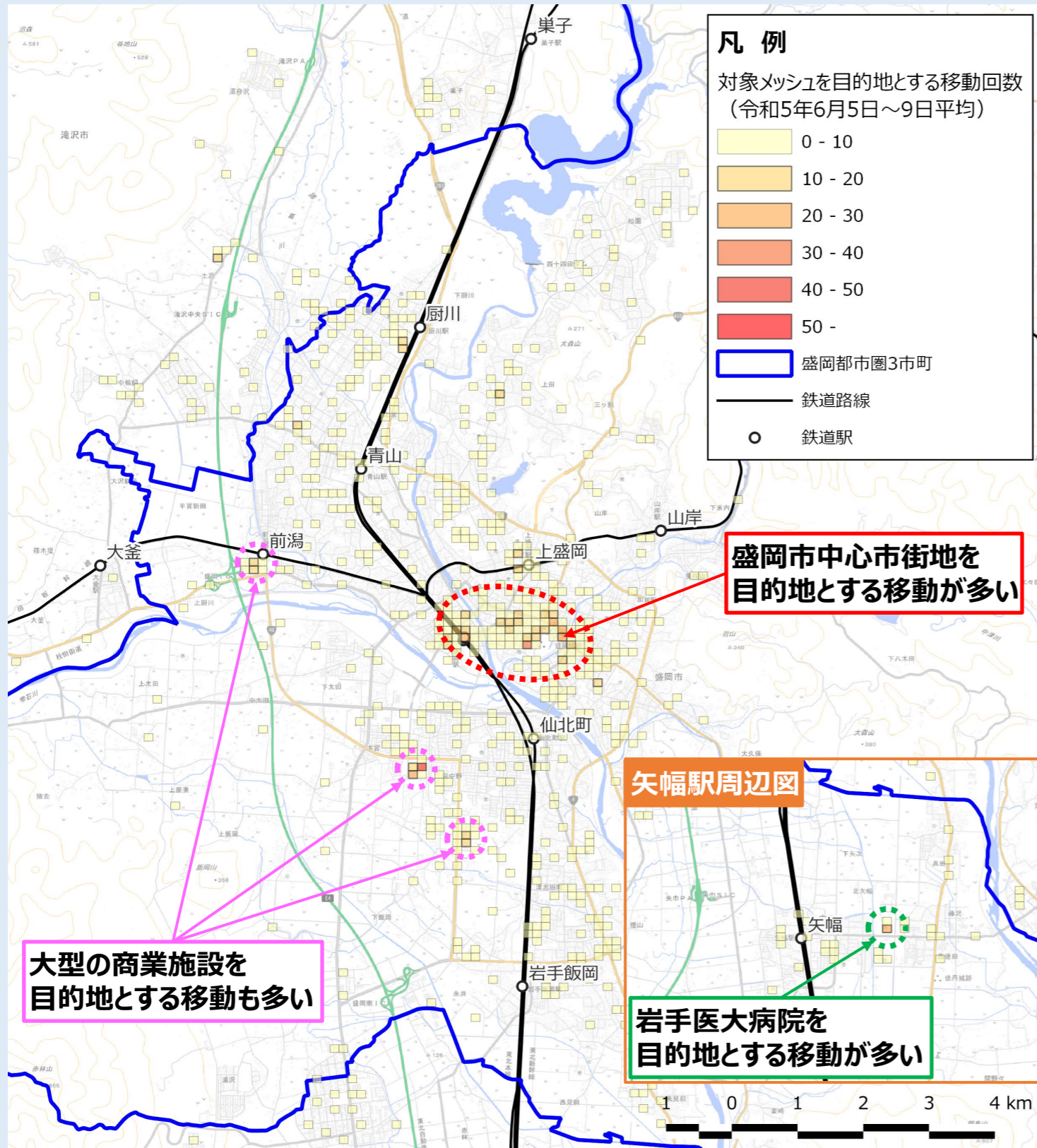
出典：人流ビッグデータ（令和5年6月5日～11日）  
抽出条件：中心市街地（開運橋～内丸）を通勤・通学先とする居住者の移動傾向 N=2,007

# 盛岡都市圏の移動実態

## 日常生活の移動

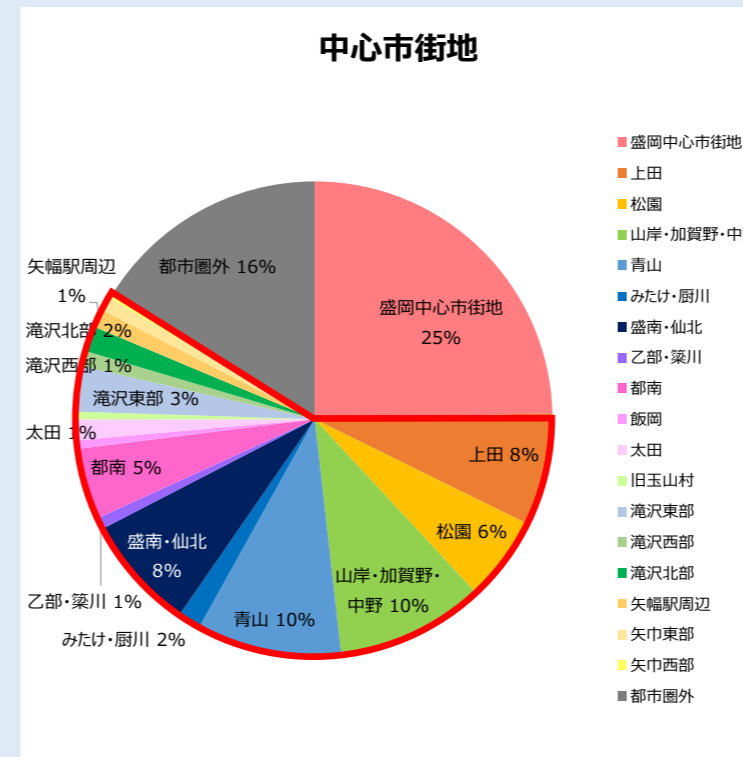
- ・ 通勤・通学を除く日常生活の移動については、盛岡市中心市街地や大型商業施設、医療施設等の集客施設を目的地とした移動が多い。
- ・ 盛岡市中心市街地は、都市圏内各地から広く目的地に選択される傾向にあるのに対し、大型商業施設については商圈の影響が大きい。

### 平日10～15時に目的地とされる場所（盛岡市・滝沢市南部）



出典：人流ビッグデータ（令和5年6月5日～9日、各日10～15時）  
抽出条件：業務・その他を目的として盛岡都市圏を目的地とした移動回数 N=22,462

### 主要な目的地へ移動者の居住地

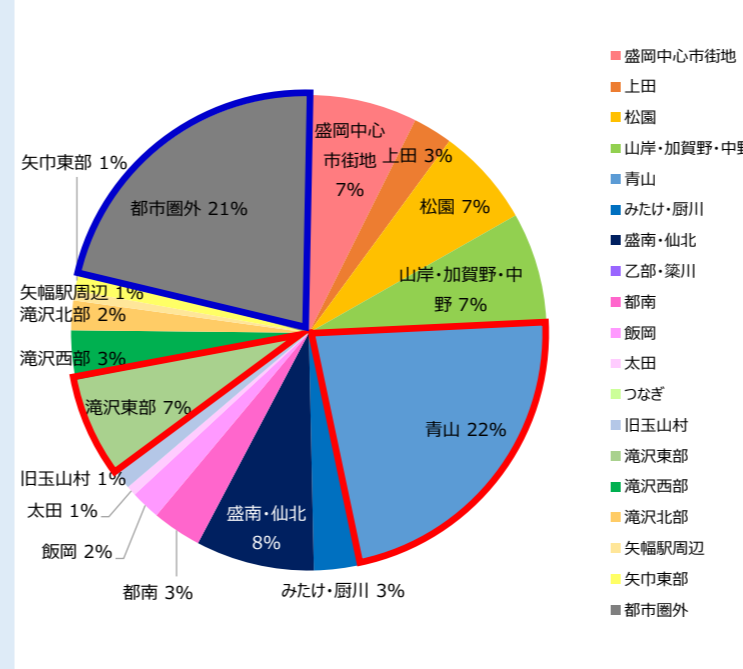


**盛岡市中心市街地が多く、中心市街地との利便性の高い都市圏内各地から広く集客**

出典：人流ビッグデータ（令和5年6月5日～9日、各日10～15時）  
抽出条件：業務・その他を目的として、中心市街地に移動した人数 N=1,927

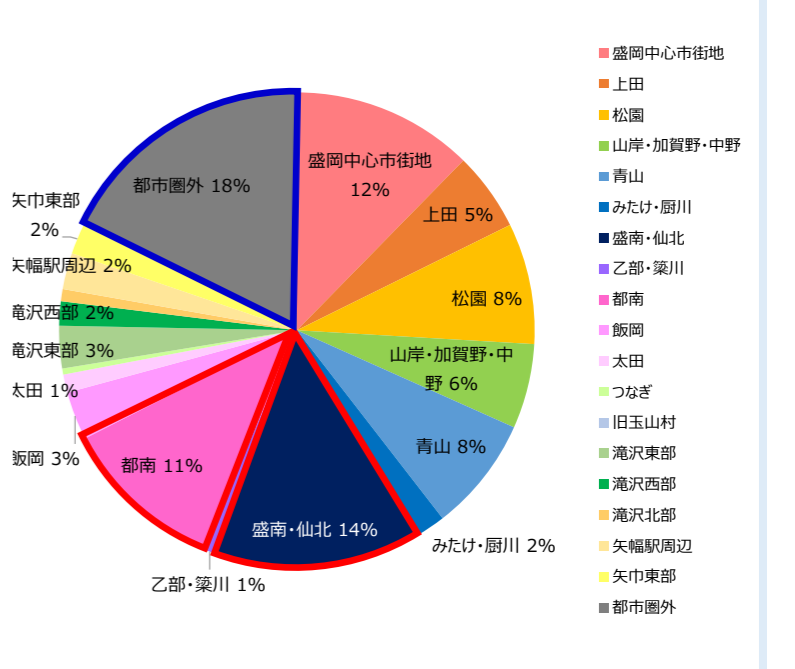
**大型商業施設の周辺から集客さらに広大な駐車場を有しており、都市圏外からの集客も多い**

#### イオンモール盛岡



出典：人流ビッグデータ（令和5年6月5日～9日、各日10～15時）  
抽出条件：業務・その他を目的として、イオンモール盛岡に移動した人数 N=149

#### イオンモール盛岡南



出典：人流ビッグデータ（令和5年6月5日～9日、各日10～15時）  
抽出条件：業務・その他を目的として、イオンモール盛岡南に移動した人数 N=243